



放置竹林整備プロジェクトの様子(竹伐採)

任意団体 福井市自然体験交流推進協議会

若者による若者のための 里山集落 結(ゆい)プロジェクト

入門助成

1年目

実践

地域の学びプロジェクト
に参加する若者の人数 149人

結ボランティアに
参加する若者の人数 76人

活動の全体目標に
対する達成度 80%

課題

里山集落には、自然と人との共生・共存する農村文化があるが、里山集落の過疎化・少子高齢化により、農村文化が次の世代に引き継がれなくなり、地域力も低下している。

目標

福井の里山集落に根づく農村文化を若い世代が引き継ぐとともに、地域住民と若者とが支えあう関係を構築し、協働で環境保全活動を行うことで多様性のある美しい里山の環境が守られること。

活動内容

- 地域の学びプロジェクト／福井県内の里山集落に根づく農村文化を学ぶ五つのプロジェクトを実施。伝統野菜プロジェクト、放置竹林整備プロジェクト、ジビエ体験プロジェクト、炭焼きプロジェクト、地域の魅力探索プロジェクト
- 結ボランティア／地域住民と協働で、地域の環境保全活動等のボランティアを行う活動を実施
- むらの担い手ネットワークの構築／里山集落に暮らす若者のネットワークづくり



ジビエ体験プロジェクトの
様子(試食会)

達成できなかったこと

参加者数の目標は達成できたが、参加者の内訳として県外や今までつながりのなかった人の参加が少なかった。対象者へのアプローチ方法や広報の時期を考える必要があった。

今後の展望

今後も若者と地域住民とがつながり、支えあう活動を行い、農村文化を次世代に残していきたい。

成果と工夫した ポイント



成果

数値目標を達成することができ、また、当初の目標であった農村集落に暮らす若者が主体となって活動を運営し、地域外の若者と農村集落の地域住民とのつながりを作ることができ、農村文化をつないでいくことができた。

工夫

農村集落に暮らす若者が主体となりながら、そこに住む地域住民との連携・協働で活動を行うようにしたこと。